

技能実習生
47都道府県プロフィール

山形

公衆電話からの通報手順、学んで安心 身者向け初の講習会

県警、外国出

山形日報 2022年8月29日

- 外国出身者が公衆電話を使った通報などの手順を学ぶ講習会が開かれた。外国出身者は日本国内で緊急通報が可能な携帯機器を持っていないケースもあることから、県警などが初めて企画した。ベトナム出身の技能実習生らが手ほどきを受けた。
- 県警などによると、国内在住の外国人はスマートフォンなどの機器を所持しているものの、国内の携帯電話会社の通信料金が高額なことなどからダイヤル発信が可能な契約をしていない人も多いという。県警が日本公衆電話会の協力を得て講習会を企画した。
- 県警では110番通報に備え、指定通訳員を配置して9カ国語に対応しており、県警通信指令課の太田久康次長は「外国人の方々もためらわずに通報して」と呼び掛けた。



来日3年目で初めて公衆電話を使ったというベトナム出身のホアン・チュン・ナムさん（25）は「何かあった時は学んだことを思い出したい」。